

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画  
「個別施設計画」(社会教育施設)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
総合情報センター	角館町田町上丁	存続	機能維持のための修繕等実施
角館工芸指導所	角館町外ノ山	存続	機能維持のための修繕等実施
角館樺細工伝承館	角館町表町下丁	存続	機能維持のための修繕等実施
角館伝統的建造物群保存地区管理事務所	角館町東勝楽丁	存続	機能維持のための修繕等実施
旧石黒(恵)家	角館町表町上丁	存続	機能維持のための修繕等実施
旧岡田家	角館町東勝楽丁	廃止検討	改築含む利活用を検討
平福記念美術館	角館町表町上丁	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢湖郷土史料館	田沢湖田沢	除却	除却済み(H30実施)
田沢湖図書館	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
山の幸資料館	田沢湖西明寺	除却	森の学校へ機能移転を検討、除却
田沢湖クニマス未来館	田沢湖湯	存続	機能維持のための修繕等実施

3. 施設管理に関する基本的な方針

<p>社会教育施設については、大規模改修を含め、計画的な維持補修に努めます。</p> <p>旧岡田家については、老朽化が著しい状況にありますが、寄贈された経緯があり、解体し新築修景の可能性について検討を進めます。</p> <p>また、山の幸資料館については、雨漏りからの腐食、屋根の一部崩落などがあり、同エリアに位置する「森の学校」への機能移転を図ります。</p>
--

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 21 日

所管課（部署）	総合情報センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市総合情報センター	延床面積	3034 m <sup>2</sup>
所在地	角館町田町上丁 23	建設年（耐用年数）	平成 12 年 2000 年 （ 50 年）
複合施設名		経過年数	21 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート（一部 2 階）

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面ともに良好
基本的な方針	存続	機能維持のための大規模改修を検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  市の情報システム管理の中核施設、また教育施設（学習資料館・文学館）がセンター内に配置しており継続する方針となっている。                  この方針に基づき機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

この施設の耐用年数までには、まだ 30 年位あり、また目標使用年数経過後はその後の存続等については検討する。
--

4 管理上の課題等

冷温水発生機（ボイラー式冷暖房機）の更新、屋根の修繕等必要だと思われる。 屋根修繕は、劣化し過ぎと高コストになるため数年後には施行を推奨されている。
---

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、冷暖設備等は必要最低限の修繕等実施し管理を図るが、これから 30 年間の維持は難しいことから、いずれ更新が必要となる。
---

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	冷温水発生機操作盤改修整備	2,640	修繕完了済
R 3	冷温水発生機分解整備、サーバー室冷房更新	8,500	令和3年度当初予算要求予定
R 4			
R 5	LED照明へ更新	9,500	検討中
R 6	屋根修繕	14,259	検討中
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		34,899	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	139,867	146,117	164,015	
運用コスト	37,421	38,311	40,864	
修繕コスト	1,261	1,738	3,456	
その他				
(合計)	178,549	186,166	208,335	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料収入	13,298	14,112	11,603	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	47,496	46,517	46,279	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 26 日

所管課（部署）	商工課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館工芸指導所	延床面積	612 m <sup>2</sup>
所在地	角館町外ノ山 18	建設年（耐用年数）	昭和 56 年 1981（31 年）
複合施設名		経過年数	39 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハート面は良好ではないが、ソフト面が良好
基本的な方針	存続	屋根修繕を要検討 機能維持
<p>「基本的な方針の考え方」                  樺細工、本市特産木工芸品等の生産技術向上とその育成振興を図るための施設として設置。                  施設管理は指定管理者制度を適用し、角館工芸協同組合が行っている。                  当面修繕しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 51 年】

樺細工等の精算振興に必要であり、当面、使用目標年数を 51 年（今後 11 年）とし維持管理を行う。
--

4 管理上の課題等

・以前水道料金が尋常でない金額となったことがあり、水道業者から調べてもらった経緯がある。 （調査したが原因は不明）
--

5 管理に関する実施方針

地元産業振興の拠点施設であり、適切な維持補修を行い施設運営を図る。
-----------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	68	64	52	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	129	116	95	

【個別票】

所管課（部署）	角館樺細工伝承館
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館樺細工伝承館	延床面積	2,349 m <sup>2</sup>
所在地	角館町表町下丁 10-1	建設年（耐用年数）	昭和 53 年 1978（50 年）
複合施設名		経過年数	42 年
特記事項	避難指定場所	構造・階数	鉄筋コンクリート一部 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好でないが、ソフト面は良好
基本的な方針	存続	機能維持のため（大規模改修）を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」                  角館の伝統工芸品樺細工の振興と観光の拠点施設という二つの使命を持つ施設である。                  武家屋敷地区のランドマークであり、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

平成 29 年に屋根改修を行っている。機能維持の修繕を実施しながら 60 年（今後 18 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その存続等について検討する。
--

4 管理上の課題等

冷房設備の老朽化、機能低下が著しい。本年度（令和 2 年）夏期、冷房設備を稼働中も室温 30°を越える状態であり、早急な冷房設備改修が必要。
--

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、冷房設備更新、館内照明の LED 化と、必要最低限の更新・修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。
--

## 6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	冷房設備の更新	96,280	実施設計、工事、設計工事監理
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
	合 計	96,280	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	2,060	2,407	1,946	
運用コスト	8,399	8,650	8,414	
修繕コスト	1,013	5,932	2,710	
その他	65,730			屋根改修工事、エアコン設置工事
(合計)	74,202	16,989	13,070	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	9,938	10,114	9,954	観覧料、使用料、図書等頒布代金

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	96,538	94,696	103,853	入館者、研修室利用者

## 【個別票】

所管課（部署）	文化財保護室
---------	--------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	角館伝統的建造物群保存地区 管理事務所	延床面積	162㎡
所在地	仙北市角館町東勝楽丁6番1	建設年(耐用年数)	昭和56年 1981 (24年)
複合施設名		経過年数	39年
特記事項		構造・階数	木造・1階

※経過年数は令和2年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する
基本的な方針	存続	利用団体が営利を目的とした活動はしておらず、施設を譲り受け維持管理はできない。
「基本的な方針の考え方」 利用団体及び伝建群関係団体等と協議した結果、営利を目的とする活動拠点ではないため、維持管理はできなく、伝建群の拠点として市が直営で管理する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 45 年】

当面、目標使用年数を45年（今後6年）とする。
-------------------------

## 4 管理上の課題等

<p>ハード面では、屋根の傷みが激しく、雨漏り等が発生する恐れもあるため早期に改修しなければならない。</p> <p>ソフト面では、応接室をかくのだて歴史案内人組合の事務所として、事務室の一角を角館北地域自主防災会の倉庫として永続的に使用されている。</p> <p>また、地域のパッチワーク教室として月1回使用されているが、公民館的活用の是非について検討する必要がある。</p>
---

## 5 管理に関する実施方針

<p>屋根の改修について、文化庁の補助事業の対象となるので、補助金を活用し実施する。</p> <p>パッチワーク教室について、角館公民館又は旧石黒（恵）家の活用を促すなど、使用団体と協議を進める。</p>
--



6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	屋根葺き替え	8,245	国庫補助金65%
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		8,245	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	63	60	67	光熱水費、汲取等
修繕コスト	—	—	40	鬼板修繕
その他	—	—	—	
(合計)	63	60	107	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	174人	186人	136人	

【個別票】

所管課（部署）	文化財保護室
---------	--------

1 施設の概要・沿革

施設名称	旧石黒（恵）家	延床面積	224.37㎡
所在地	仙北市角館町表町上丁1番地	建設年(耐用年数)	昭和10年(24年)
複合施設名		経過年数	39年
特記事項		構造・階数	木造・一部2階建て

※経過年数は令和2年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I型	ハード面、ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	伝統的建造物として保存・活用を図る。

「基本的な方針の考え方」

仙北市の観光拠点である伝統的建造物群保存地区の一角にあり、観光客への一般公開と市民による利活用がなされており、建物の保存と公開が両立されている。今後修理の機会はあるが文化財の活用拠点として後世に継承するべく存続させていく。

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

4 管理上の課題等

壁の亀裂など今後文化財修理を要する。 料理教室など市民の利用頻度が高い台所に冷暖房設備がなく、エアコンの設置を検討する。 また冬期間は、足がかじかむほど床が冷たく、断熱材を入れるなどの対策が必要である。
---

5 管理に関する実施方針

必要最低限の修理等を実施し、冷暖房設備の設置等を検討する。
-------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R10			
R11			
R12			
R13			
R14			
R15			
R16			
R17			
R18			
R19			
R20			
R21			
R22			
R23			
R24			
R25			
R26			
R27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	3,836	4,159	4,308	管理人人件費ほか
修繕コスト	—	59	38	小破修繕
その他	—	—	—	
(合計)	3,836	4,218	4,346	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料収入	6	1	3	部屋使用料

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	2,092人	1,977人	2,107人	部屋利用者
入館者数	7,159人	5,015人	5,033人	観光客等

## 【個別票】

所管課（部署）	文化財保護室
---------	--------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	旧岡田家	延床面積	416.2㎡
所在地	仙北市角館町東勝楽丁24番	建設年(耐用年数)	昭和33年(24年)
複合施設名		経過年数	62年
特記事項		構造・階数	木造亜鉛メッキ鋼板葺・2階建

※経過年数は令和2年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する
基本的な方針	廃止検討	改築含む利活用を検討
「基本的な方針の考え方」 市に無償譲渡された建物であるが、傷みもあり今後は、解体し新築修景の上、利活用を図っていく。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

## 4 管理上の課題等

一部に天井の落下、雨漏りがある。
------------------

## 5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R10			
R11			
R12			
R13			
R14			
R15			
R16			
R17			
R18			
R19			
R20			
R21			
R22			
R23			
R24			
R25			
R26			
R27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	52	52	52	自家用電気工作物保安
運用コスト	117	93	81	需用費、光熱水費
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	169	145	133	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 22 日

所管課（部署）	角館町平福記念美術館
---------	------------

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館町平福記念美術館	延床面積	1,451 ㎡
所在地	角館町表町上丁 4-4	建設年（耐用年数）	昭和 63 年 1988（50 年）
複合施設名		経過年数	33 年
特記事項		構造・階数	RC 造・一部二階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設	
基本的な方針	存続	空調機器の更新（大規模改修）を実施・検討	機能維持
「基本的な方針の考え方」 樺細工伝承館、新潮社記念文学館などと共に仙北市の観光の一翼を担う施設である。 建物自体は屋根改修工事等を経て建設当初の機能を維持した状態にある。一方、空調機器は老朽化が進んでいるため、なるべく早期に更新したい。			

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

建物自体は東日本大震災の影響も受けなかった堅牢な施設である。平成 24 年度から 27 年度にかけて屋根改修工事を、30 年度に展示室屋根防水補修工事を行っている。他に回廊に続くスロープや階段のタイル補修等を実施して外観の保持を図っている。空調設備をはじめ老朽化している館内設備を適宜更新することで、この先長く使用できるものと思われる。
--

4 管理上の課題等

今年度、空調設備の心臓部である冷温水発生機の不具合箇所整備・部品交換等の大規模修繕を行ったが、空調設備の他の部位も老朽化が進んでおり装置全体の更新が望まれる。空調設備の更新にあたっては、現行方式（冷暖房切替型）にするか冷暖房別個の方式にするか、環境にやさしい燃料消費の少ない方式か、ダクトの耐久性（更新する装置の出力に対応可能か）などを調査・検討する。
--

5 管理に関する実施方針

貴重な作品を扱っている施設であり雨漏りの発生は絶対にあってはならないため、屋根の状態については注意を払う必要がある。機械設備は館の運営に支障が出ないよう順次更新したい。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4	冷温水発生機更新	47,366	実施設計、工事、設計工事監理
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		47,366	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	1,421	1,426	1,495	
運用コスト	19,124	19,031	21,936	
修繕コスト	875	464	265	冷温水発生機関係
その他	670	375	0	ハンドドライヤー取付
(合計)	22,090	21,296	23,696	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	2,386	2,279	1,647	入館料+自販機設置

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	13,433	13,198	11,256	入館者数

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 29 日

所管課（部署）	管 財 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖郷土史料館	延床面積	311 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖田沢字春山 地内	建設年（耐用年数）	昭和 44 年 1969（不明）
複合施設名		経過年数	51 年
特記事項	平成 30 年解体済み	構造・階数	鉄骨造 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	平成 30 年解体済み
「基本的な方針の考え方」		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--



6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	100	100	100	
運用コスト	1,950	1,982	1,853	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	2,050	2,082	1,953	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	1,181	1,287	1,109	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	生涯学習課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖図書館	延床面積	756 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖生保内字武蔵野 105-1	建設年（耐用年数）	昭和 56 年 1981（50 年）
複合施設名		経過年数	38 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面・ソフト面とも改善の検討を要する
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 市民の教育と文化の発展に必要な施設であり、機能維持のための修繕を実施しながら適正な維持管理を図る。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

平成 26 年から 27 年にかけて、事務事業移転室を中心に指定管理者制度を検討したが、各種設備機器の更新や角館の学習資料館との同時委託の検討が必要という結論で断念。
---

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

今後 12 年で耐用年数を迎えるが、必要最小限の修繕を実施し 60 年以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、大規模改修等存続について検討する。
---

4 管理上の課題等

ボイラー式の暖房設備が老朽化し、蒸気配管の改修が必要となっているが、天井、床下配管のため大規模で高額となる。FF 式暖房や外部灯油配管方式での更新を検討する。寄贈品（特に美術品）の保管場所が不足しているため、新設又は改修による専用所蔵庫の確保を検討する。 現状、専任職員が 1 人のみの配置となっており、管理運営上 2 人以上の専任職員が望ましい。
---

5 管理に関する実施方針

各種設備については必要最小限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。
------------------------------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	児童図書用書架修繕	35	済
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			※耐用年数
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		35	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	720	720	729	
運用コスト	5,568	4,288	3,686	H29 フィルム DVD 化
修繕コスト	279	1,270	103	H30 車庫修繕等
その他 (改修・修繕等)	3,045	0	0	ボイラー更新等
その他 (備品購入)	3,090	2,658	2,981	H29 入館者カウンター
(合計)	12,702	8,936	7,499	※千円以下切捨
【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	42	58	41	自動販売機設置等
【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	12,938	22,321	22,173	
蔵書数	49,148	41,886	39,954	
貸出冊数	15,442	18,043	18,884	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 16 日

所管課（部署）	農林整備課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	山の幸資料館	延床面積	469 m <sup>2</sup>
所在地	西木町西明寺字潟尻 117	建設年（耐用年数）	H1 1989（24 年）
複合施設名	かたまえ山森林公園	経過年数	31 年
特記事項		構造・階数	木造 2 階建

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	機能移転と併せ除却を検討

「基本的な方針の考え方」  
 当施設はかたまえ山森林公園内に存在する施設である。  
 研修室の一部が雨漏りから腐食が進行し、屋根の一部が崩れ落ちている。当該部分を修復しない限り施設としての利用は困難であるため、修繕を行うか、行わずに除却へ向かうかの検討が必要である。森の学校への機能移転を図る。

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 40 年】

機能移転までの期間を目標使用年数とする 。
--------------------------

4 管理上の課題等

当施設は指定管理を行っている施設であるが、利用実績に乏しく、指定管理者からも今後の指定管理上における最大の課題であるとして問題提起されている施設である。今後の利用促進・保守については指定管理者も交えた協議が必要である。

5 管理に関する実施方針

森の学校への機能移転を目指し、当面は維持管理に努める。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	屋根塗装工事	5,707	
R 4	バルコニー及び屋根修繕工事	13,000	
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		18,707	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	(7,629)	(7,277)	(7,412)	0内はかたまえ山 森林公園指定管理 料の数字
運用コスト				
修繕コスト		78		
その他				
(合計)	0	78	0	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	21	19	34	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 13 日

所管課（部署）	企画政策課
---------	-------

## 1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖クニマス未来館	延床面積	687 m <sup>2</sup>
所在地	田沢湖潟字ヨテコ沢 4	建設年（耐用年数）	平成 29 年 2017 年 (60 年)
複合施設名		経過年数	3 年
特記事項		構造・階数	木造地上 1 階・地下 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面、ソフト面ともに良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持
「基本的な方針の考え方」 観光、教育施設として、定期的な修繕を計画して存続する。		

## ※ 集約・複合化の検討について

--

## ※ 公民連携の検討について

--

## ※ 民間等への譲渡の検討について

--

## ※ 国・県協働の検討について

--

## 3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

適切な維持管理に努め、できる限り長い年数の使用を目指す。
------------------------------

## 4 管理上の課題等

--

## 5 管理に関する実施方針

適切な維持管理に努める。
--------------

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19	大規模修繕	10,000	20年経過。展示を含む改修。
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
	合 計	10,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	6,595 (6,005)	7,535 (6,820)	8,010 (7,129)	自動ドア等 (うち会計年度職員 の person 費)
運用コスト	4,754	4,570	3,443	光熱水費等
修繕コスト	0	0	440	床修繕
その他	0	0	0	
(合計)	11,349	12,105	11,893	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	5,721	3,772	3,469	観覧料・使用料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	25,003	18,164	16,300	